

研究課題名

次世代シーケンサーを用いた胃腸炎起因ウイルスの網羅的解析法の検討

研究の概要

現在、ノロウイルスなどの胃腸炎起因ウイルスはPCR法による遺伝子検査を行っているが、PCR法は、ウイルスごとに個々の検査法の設計が必要である。また、近年、ノロウイルスのリコンビナント株やロタウイルスのリアソータント株などの変異が報告されており、これらの変異は既知のウイルス抗原性が大きく変化する可能性が示唆されている。

そこで次世代シーケンサー（NSG）を用い、ウイルスの網羅的な検出および、全長配列の取得を行い、胃腸炎起因ウイルスの検出や変異株の発見を行う。さらに、取得したデータを解析することにより、都内で発生する胃腸炎起因ウイルスの動向について明らかにすることを本研究の目的とする。

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター

所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部ウイルス研究科

浅倉 弘幸

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。